

モーター・パラグライダーは、空をとぶスポーツです。世の中にプロペラつきのエンジンをせおい、パラグライダーのつばさを広げたら、ふじさんよりも高くとべます。くものなかかやぐ世界や、まんまるのじなと、空からさつえいした写真をしょうかいします。

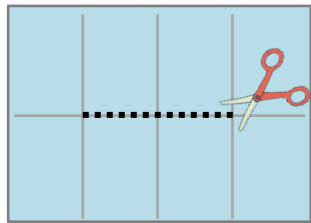
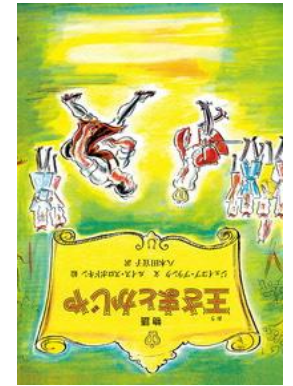
山本直洋／写真 ちかそう／文 小学館

『そらをとびたい』



8さいの王さまは、いつも大人たちがきめたことだけをしなくてはならないので、うんざりしていました。王さまは、からすからすにかんむりをぬすまれてりしてしまいました。そんなある日、おどろかすために、くいでいちばん大きな声のかじやをつれてくることにしました。

『物語 王さまとかじや』  
ジェイコフ・クラック／文  
ルイス・スロボキン／絵  
八木田直子／訳 徳間書店



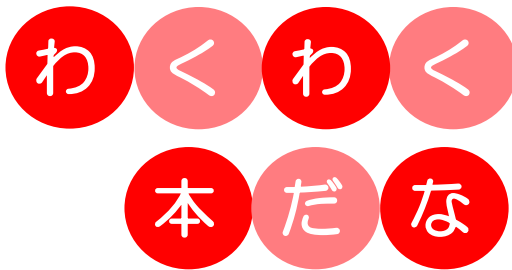
紙を8つにおいて、半分にひろげてね。てん線のところに、ハサミで、きりこみをいれて、くみだてれば、本のかたちになるよ！

編集・発行 富山市立図書館

富山市西町5番1号

電話 076-461-3200

としょかんのホームページもみてね！



2021年  
12月号



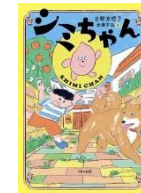
『ねこお婆さんニンジャ』



マスダフミコ／作  
新日本出版社

ねこお婆さんは、村のかそう大会でニンジャのかそうをすることにします。よる、外でかそう大会のれんしゅうをしていると、ニンジャのようなかっこうであるいている男がいました。ねこお婆さんは、なかまだとおもいよろこびますが、この男はどろぼうだったのです。

『シミちゃん』



吉野万理子／作  
北澤平祐／絵  
くもん出版

せかいじゅうでびょうきがはやり、出かけるときにはマスクをすることになりました。ところが、お母さんのほっぺたのシミが、「マスクをしちゃうと、外が見えないよ」といって、にげだしてしまったのです。マーくんは、シミちゃんをおいかけますが……。

わたしたちの身の回りに、筆で書かれた文字がたくさんあります。文字を書くときに使う紙、筆、墨、すずりは、昔から宝物として大切にされてきました。とくにすずりは、選びぬかれた石を使っていて、干つていぬいに作られていて、千代紙に使われるほど立派な道具です。

習字道具の作り方や、文字のな

りたちを見てみましょう。

『すずりくん 書道具のおはなし』  
青柳貴史／作 中川学／絵  
あかね書房



ミケは、同じクラスの大川に、崖の下にあるふしぎなお店のことを見せてもらいます。そのお店は魔法使いがいて、子どもの思い出をあずかってくれるそうです。ミケはさっそくお店に行って、今日あったいやな出来事をあずかることにします。魔法使いがオルゴールのような箱をあけたとたん、今日の出来事は頭の中から消えてしまいました。

K913 『崖の下の魔法使い』  
吉野万理子／作 宮尾和孝／絵 学研



紙を8つにおいて、半分にひろげてね。てん線のところに、ハサミで、きりこみをいれて、くみたてれば、本のかたちになるよ！

編集・発行 富山市立図書館  
富山市西町5番1号  
電話 076-461-3200  
としょかんのホームページもみてね！



2021年  
12月号



K949 『おてんばヨリーとひげおじさん』  
アニー・M.G. シュミット／作  
フィープ・ヴェステンドルフ／絵  
西村由美／訳 岩波書店

今日は新しい列車のおひろめの日。車しょうのひげおじさんは大はりきりです。ところが、ヨリーが列車の下に入りこんだハリネズミたちを助けようとしたため、発車が30分以上もおくれてしまいました。しかも列車には、ハリネズミそっくりのぼくだんがしかけられていたのです。